

モニタリング結果報告書（平成24年度下半期）

施設	汐見台病院
指定管理者	公益社団法人神奈川県医師会
指定期間	H23.4.1 ～ H28.3.31
施設所管課	県立病院課 ( )

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

診療体制を強化し、公的病院、地域の中核的病院として、救急医療、産科医療、医療従事者教育等を行う体制を充実させるべく努めている。  
また、救急隊との連携強化などにより、多くの患者の受け入れに努めた結果、外来・入院患者とも前年度から増加したことから、B判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月19日	11月20日	○	—	—	無	
11月	12月18日	12月25日	○	—	—	無	
12月	1月18日	1月23日	○	—	—	無	
1月	2月18日	2月25日	○	—	—	無	
2月	3月18日	3月22日	○	—	—	無	
3月	4月19日	4月30日	○	—	—	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	救急医療 自主救急体制の実施、横浜市救急病院輪番体制及び二次救急病院輪番体制への参加	救急患者数 H24下半期合計 1,642人

	提案内容	実施状況
2	開放型医療 患者紹介、共同診療、検査受託等の地域医療機関との連携	開放型医療 H24下半期 患者紹介率 34.5%、逆紹介率 17.7%、 共同診療 延23件、検査受託 447件 (CT、MRI)
3	腎疾患専門医療 腎不全の治療、腎移植患者の管理、月～土曜日まで 1日2サイクルの外来透析治療の実施	腎疾患専門医療 人工透析 H24下半期 入院延患者数 707名、 外来延患者数 3,244名
4	医療従事者の教育 看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士等を目指す臨床 実習生の受入	医療従事者の教育 H24下半期実習生受入状況 実人数132名 (内訳) 看護師121名、薬剤師1名、 栄養士6名、理学療法4名
5	産科医療 月72件の分娩を受けられる体制の確保	産科医療 H24下半期 分娩実施件数 380件

#### 4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		766,375	4,143,331	3,300	4,913,006	4,913,006	0
予算額	前年度	765,075	4,101,007	3,300	4,869,382	4,869,382	0
	上半期	726,016	2,050,503	1,650	2,778,169	2,434,691	343,478
	下半期	39,060	2,050,504	1,650	2,091,214	2,434,691	▲ 343,478
	今年度	766,280	4,025,845	3,300	4,795,425	4,795,425	0
	上半期	704,120	2,012,923	1,650	2,718,693	2,397,713	320,980
	下半期	62,160	2,012,922	1,650	2,076,732	2,397,712	▲ 320,980
下半期実績額	10月	6,996	363,582	6,687	377,265	298,894	78,371
	11月	7,854	334,786	5,450	348,090	388,294	▲ 40,204
	12月	69,958	340,489	1,473	411,920	582,724	▲ 170,804
	1月	6,774	311,623	3,151	321,548	423,200	▲ 101,652
	2月	6,738	336,053	2,410	345,201	271,281	73,920
	3月	21,718	940,924	4,730	967,372	1,106,812	▲ 139,440
	今年度 下半期合計	120,038	2,627,457	23,901	2,771,396	3,071,205	▲ 299,809
	前年度 下半期合計	67,965	2,525,357	13,281	2,606,603	2,822,153	▲ 215,550
	対前年度下半期比			③	6.3%	8.8%	
参考	今年度 上半期合計	654,782	1,387,595	4,280	2,046,657	1,746,848	299,809
	今年度 合計	774,820	4,015,052	28,181	4,818,053	4,818,053	0

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

#### 収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度下半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	○	24年度診療薬支払い開始が下期となるものがあったため、下半期の支出額が多くなった（薬品費の単価決定には価格交渉を行うため、支出は年度途中からとなる）。
③ 収入額又は支出額が前年度下半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		3月の利用料金収入及び支出額が特に多いのは、未収金及び未払金を3月に計上するため。

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等

基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：  
 資産価値を増進する改修、改造、増築又は移設・・・県負担  
 資産価値を維持する修繕等・・・指定管理者

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	3,984	本館屋上防水工事
合計	3,984	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
支出	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	168,012（期末）	借入金(オーダーリングシステム)
	0（期首）	
	107,739（期末）	退職積立

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	19,157 人	18,355 人	4.4 %
	(内訳) 外来 13,652 人	12,948 人	5.4 %
	入院 5,261 人	5,175 人	1.7 %
	救急 244 人	232 人	5.2 %
11月	18,263 人	18,570 人	▲ 1.7 %
	(内訳) 外来 13,455 人	13,290 人	1.2 %
	入院 4,533 人	5,068 人	▲ 10.6 %
	救急 275 人	212 人	29.7 %
12月	18,780 人	18,501 人	1.5 %
	(内訳) 外来 13,195 人	12,987 人	1.6 %
	入院 5,222 人	5,203 人	0.4 %
	救急 363 人	311 人	16.7 %
1月	17,844 人	17,604 人	1.4 %
	(内訳) 外来 12,412 人	12,223 人	1.5 %
	入院 5,122 人	5,079 人	0.8 %
	救急 310 人	302 人	2.7 %
2月	16,770 人	17,177 人	▲ 2.4 %
	(内訳) 外来 11,869 人	12,267 人	▲ 3.2 %
	入院 4,670 人	4,676 人	▲ 0.1 %
	救急 231 人	234 人	▲ 1.3 %
3月	18,917 人	18,276 人	3.5 %
	(内訳) 外来 13,262 人	13,316 人	▲ 0.4 %
	入院 5,436 人	4,768 人	14.0 %
	救急 219 人	192 人	14.1 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度 上半期計	合計 108,819 人	109,643 人	107,108 人	0.8 %	2.4 %
	外来 76,790 人	76,827 人	75,433 人	0.1 %	1.9 %
	入院 32,029 人	31,259 人	30,220 人	▲ 2.5 %	3.5 %
	救急 — 人	1,557 人	1,455 人	%	7.1 %
今年度 下半期計	合計 108,819 人	109,731 人	108,483 人	0.9 %	1.2 %
	外来 76,790 人	77,845 人	77,031 人	1.4 %	1.1 %
	入院 32,029 人	30,244 人	29,969 人	▲ 5.6 %	1.0 %
	救急 — 人	1,642 人	1,483 人	%	10.8 %
今年度合計	合計 217,638 人	219,374 人	215,591 人	0.8 %	1.8 %
	外来 153,580 人	154,672 人	152,464 人	0.8 %	1.5 %
	入院 64,058 人	61,503 人	60,189 人	▲ 4.0 %	2.2 %
	救急 — 人	3,199 人	2,938 人	%	8.9 %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度下半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度下半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

## 6 苦情・要望等の状況

受付件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数	4	3	8	0	0	15
下段：報告件数のうち所管課受付分	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )

(参考)

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数	5	4	5	3	0	17
下段：報告件数のうち所管課受付分	( 0 )	( 0 )	( 2 )	( 3 )	( 0 )	( 5 )

## 7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
( )		
( )		
( )		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

・24年度は、入院・外来患者とも前年度と比較して増加した。要因としては、医師の増員（外科、泌尿器科各1名）による診療体制の強化（診察枠の拡大等）、眼科の手術日の拡充、救急患者の増、それらに伴う手術件数の増などが挙げられる。

・救急は、救急隊からの専用回線による救急患者の受入れの迅速化及び救急患者の積極的な受け入れを実施したことにより、前年度より受入れ件数が増加した。

・分娩については、前年度と同程度の件数となった。助産師外来、母乳外来など充実した妊婦へのサービスを継続して提供することにより、安定した受入れ体制を維持している。

・施設の運営管理は良好に実施されているので、引き続き患者サービスの向上に努め、患者の療養環境を充実させるための対策を今後も進めていきたい。